表層混合処理工（浅層・中層混合処理工） 九州フィールド対象NETIS技術等選定一覧

□ 工法比較表対象技術　□ 新規対象技術（調査中）　□ 削除技術

令和8年10月現在

※「活用状況（本省）」欄にNETIS掲載期間内の大まかな活用件数を記す。☆＝500件以上、◎=100件以上、○=50件以上、□=20件以上

（注）NETISホームページへ移動しない場合は、ファイルをダウンロードしてご使用ください。

整理番号	技術名	NETIS番号	AVG	アブストラクト	区分	分類1 Lv.1	分類1 Lv.2	分類1 Lv.3	分類1 Lv.4	技術の位置づけ	活用効果評価	活用状況（本省）※	掲載期間終了技術（終了時期）	生産供給体制（機械保有台数等）	備考	NETIS HPリンク先（注）
1	WILL工法(スラリー揺動攪拌工)	QS-090004	VG	2タイプのリボンスクリュー型攪拌翼とブーメランプレートとを使い分けることにより、軟弱な粘性土地盤はもとより、N値40までの砂質土地盤に固化材を注入しながら揺動攪拌混合し、安定した改良体を形成する工法である。	工法	共通工	軟弱地盤処理工	固結工		[R1準推奨][設計比較][活用促進]	有	○	2020/3/31	MAR-350 2台、MAR-500 5台、MAR-700 3台、MAR-700長尺使用 2台、MAR-1300 2台		-
2	STB-MC工法	KT-100020	VG	本技術は、セメント系固化材を原位置で飛散防止用に加工して用いる浅層地盤改良工法で、従来は工場製品の発塵抑制型固化材を用いた浅層地盤改良工法により対応していた。本技術の活用により、安価な固化材で飛散防止ができるので施工コストの縮減が図れる。	工法	土工	路床改良工			評価済み	有	□	2021/3/31	全国エリア対応 モイストセメント製造装置　6台，モイストセメント専用散布車　7台，スタビライザ　81台		-
3	パワーブレンダー工法(スラリー噴射方式)	CB-980012	VG	トレンチャー式撹拌機を改良機本体に装着して改良材(セメント系固化材等)を対象地盤中にスラリー噴射しながら撹拌混合する工法です。改良深度は最大13m程度(実績13.9m)可能です。重機足場は仮設鉄板程度で済み、改良機本体は改造型バックホウなので転倒の心配も無い。	工法	共通工	軟弱地盤処理工	固結工		[H23推奨][設計比較]	有	☆	2017/4/20	全国、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県		-
4	ツイン・ブレードミキシング工法	KT-050086	VG	本技術は、縦型回転攪拌装置を用いた中層混合処理工法で、従来は、スラリー撹拌工(2軸施工)で対応していた。本技術の活用により、1セットあたりの改良面積が増加して、工程が短縮し経済性が向上する。	工法	共通工	軟弱地盤処理工	固結工		[H24準推奨][設計比較]	有	○	2017/4/20	技術提供可能な地域：全国 TB-S:16台（所在地：佐賀1台、千葉15台）、TB9機12台（所在地：千葉県） TB12機12台（所在地：千葉県）、TB14機3台（所在地：千葉県）		-
5	SCM工法	SK-020004	VG	あらゆる現場条件に適応できる浅層・中層地盤改良工法です。	工法	共通工	軟弱地盤処理工	固結工		[H22準推奨][活用促進]	有	○	2017/4/20	ロータリーブレンダー31台(九州内：福岡4台、九州外：全国27台)		-
6	パワーブレンダー工法(粉体噴射方式)	CB-980019	VG	トレンチャー式撹拌機を改良機本体に装着して改良材(セメント系固化材等)を対象地盤中に粉体圧送しながら撹拌混合する工法です。改良深度は6m程度まで可能です。重機足場は仮設鉄板程度で済み、改良機本体は改造型バックホウなので転倒の心配も無い。	工法	共通工	軟弱地盤処理工	固結工		[H26推奨][設計比較]	有		2017/4/20	-		-
7	超軟弱土固化処理工法 マッドミキサー M-Ⅱ型	QS-980054	VG	バックホウに超ロングブームアームと特殊撹拌機を装備し、軟弱土と固化材を連続的に機械混合し、土と固化材を化学反応させ、土質性状を安定したものにすると共に、強度を高める工法です。	工法	共通工	軟弱地盤処理工	表面安定処理工		[活用促進]	有		2017/4/20	M-Ⅱ型:21台(九州内：佐賀県21台)		-
8	スタビミキサー工法	SK-010014	VG	本技術はトレンチャー式撹拌により軟弱地盤を上下撹拌し改良体を築造する工法で、従来はバックホウ混合・コラム改良等で対応していた。本技術の活用によりバックホウ混合では対応できない深さ・コラム改良のように大型重機の搬入の出来ない工事での適用が期待出来る。	工法	共通工	軟弱地盤処理工	固結工		[活用促進]	有		2017/4/20	3m級:4台(九州外：広島県4台),5m級:6台(九州外：広島県6台),7m級:3台(九州外：広島県3台)		-
9	ロータリースタビライザー	HK-070016	VG	この撹拌機械は、対象土に粉体で散布された添加材を0.3～1.2m程度(粉体式)の深さまで均一に撹拌混合し、所定の強度を得ることができる。	機械	共通工	軟弱地盤処理工	その他		[設計比較][活用促進]	有	□	2018/3/31	未回答		-
10	エルニード工法	SK-180009	A	本技術は、バックホウによる特殊バケットを用いたブロック状の改良体を築造する地盤改良工法で、従来は、小型改良機による柱状の改良で対応していた。本技術の活用により、地下水が高い地盤や玉石を含む土質や礫質層も均一な改良体を築造可能となります。	工法	共通工	深層混合処理工	固結工	その他					汎用機：リース、労務：(株)エルニード九州（グループ会社）		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=SK-180009
11	パワーブレンダー工法(横行施工)	QS-180038	VE	中層領域の地盤改良においてトレンチャ式地盤改良機に角度変換機能付撹拌機を装着する事で、従来、施工出来なかった任意角度による横行走行連続施工が可能となり、近接箇所や狭隘な箇所での施工性が向上し適用範囲が拡大した。	工法	共通工	軟弱地盤処理工	固結工		[★ R7推奨][★活用促進]	有			全国、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-180038
12	ICT対応型スラリー揺動撹拌工（WILL-i工法）	QS-210018	VE	本工法は中層混合処理工に関する技術である。ICTを活用した平面誘導・平面管理により位置出し作業や出来形検査の省力化が可能で、特殊撹拌翼により均一性の高い良質な改良体（最大深度13m）の構築および最大改良深度8mにおいてN値40程度の砂・砂礫地盤への適応が可能である。	工法	共通工	軟弱地盤処理工	固結工		[★R8準推奨] [★活用促進]	有			MAR-350 2台、MAR-500 5台、MAR-700 3台、MAR-700長尺使用 2台、MAR-1300 2台		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-210018
13	パワーブレンダー工法（ICT施工）	QS-210068	VE	本工法は、中層混合処理に関する技術である。ICTを活用することで現場での出来形管理及び帳票作成の効率化を図ると共に、施工記録を確認しながら作業することができるため手戻り防止となり、均一性の高い良質な改良体の構築が可能となる。	工法	共通工	軟弱地盤処理工	固結工		[★R8準推奨] [★活用促進]	有			全国、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-210068
14	多方向スラリー噴射揺動撹拌工（WILL-m工法）	QS-220044	A	本技術は中層混合処理工に関する技術である。多方向スラリー噴射(撹拌翼上部からの高圧噴射と撹拌機先端部からの低圧噴射)と独自の揺動撹拌機構を併用した噴射揺動撹拌により高速施工が可能となり、軟弱地盤の大規模工事で効果が高い技術である。	工法	共通工	軟弱地盤処理工	固結工						MAR-350 2台、MAR-500 5台、MAR-700 3台、MAR-700長尺使用 2台、MAR-1300 2台		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-220044
15	スラリー中圧式自動撹拌工（Eight工法）	KT-230182	A	本技術は、左右相対回転する大型撹拌装置を用いて、自動制御により改良を行う中層混合処理工法で、従来は、トレンチャー式撹拌混合装置で対応していた。本技術の活用により、大断面施工と自動施工が可能となるため工期短縮と品質の安定が図れる。	工法	共通工	軟弱地盤処理工	固結工						1.9㎥級：2台、0.8㎥級：5台		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-230182
16	トレンチャー方式中層混合処理工法「ダイナWミキシングST工法」	QS-250006	A	本技術は、中層混合処理工に関する技術である。従来は一般的な中層混合処理工（トレンチャー式）であったが、撹拌装置を改良したことにより、機械損料の削減ならびに日当たり施工量が増加し、経済性の向上及び工程の短縮が図られる。	工法	共通工	軟弱地盤処理工	固結工						／		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-250006
17	ミキシングバケット式地盤改良工「ダイナWミキシングVB工法」	QS-250008	A	本技術は地盤改良工に関する技術である。従来は深層混合処理工であったが、汎用型バックホウをベースマシンとした振動機付きバケットミキサーによる撹拌混合により、経済性の向上、工程の短縮、施工性の向上が期待できる。	工法	建築	地業工事							／		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-250008